

目 標

- (1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにする。
- (3) 具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにする。
- (4) 具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり読み取ったりすることができるようにする。

1年生ではこんな学習をします。

| 月 | 学 習 内 容 | 時数 | 学 習 の ね ら い |
|----|----------------|----|---|
| 4 | なかまづくりとかず | 12 | ●10までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数を用いることができるようにする。 |
| 5 | なんばんめ | 2 | ●数は順序や位置を表す際にも用いられることを知り、前後に関わる順序の表し方を理解する。 |
| | いくつといくつ | 8 | ●10までの数の系列について多面的にみることができるようにする。 |
| 6 | あわせていくつふえるといくつ | 10 | ●加法の意味と和が10以内の加法計算の仕方を考え理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いることができるようにする。 |
| 7 | のこりはいくつちがいはいくつ | 11 | ●減法の意味と和が10以内の減法計算の仕方考え理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いることができるようにする。 |
| | 10よりおおきいかず | 10 | ●20までの数の個数の数え方、数の書き方、数の構成などを理解し、数を用いることができるようにする。 |
| | なんじ なんじはん | 2 | ●時刻に関心を持ち、時計から何時、何時半の時刻を読むようにし、日常生活に生かすことができるようにする。 |
| | はなは なんこ さいたかな | 2 | ●ものの個数を絵や図などを用いて表したり、読み取ったりすることができるようにする。 |
| 9 | どちらがながい | 5 | ●長さの比較等の活動を通して、長さや測定についての基礎となる経験や、長さについての感覚を豊かにする。 |
| | 3つのかずの けいさん | 4 | ●3つの数の加減計算の仕方理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いることができるようにする。 |
| | どちらがおおい | 4 | ●体積の比較などの活動を通して、体積とその測定についての経験や、体積についての感覚を豊かにする。 |
| 10 | たしざん | 12 | ●1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方理解し、確実にできるようにするとともにそれを用いることができるようにする。 |
| | かたちあそび | 5 | ●身の回りの形についての観察や構成等の活動を通して、立体図形についての基礎となる感覚を豊かにする。 |
| 11 | ひきざん | 12 | ●11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方考え理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いることができるようにする。 |
| | どんなけいさんになるのかな | 2 | ●加法や減法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定することができるようにする。 |
| 12 | どちらがひろい | 1 | ●面積の比較などの活動を通して、面積の概念や測定についての経験や面積についての感覚を豊かにする。 |
| 1 | 20より おおきい かず | 15 | ●2位数の個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数を用いることができるようにする。 |
| 2 | なんじなんぶん | 3 | ●時刻に関心を持ち、時計から何時何分の時刻を読むようにし、日常生活に生かすことができるようにする。 |
| | すをつかってかんがえよう | 6 | ●順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面についても加減計算が適用できることを理解し、それを用いることができるようにする。 |
| 3 | かたちづくり | 5 | ●身の回りにあるものの形についての観察や構成などの活動を通して、平面図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにする。 |
| | 1ねんのふくしゅう | 5 | |

ねらいに到達しているかどうか主に次の観点と方法で評価します。

算数への関心・意欲・態度

数量や図形に関心を持ち、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで活用しようとしているかを、授業での態度や発言、活動の様子、ノートやプリントの記述などから評価します。

数学的な考え方

日常の事象を数理的にとらえ、見通しをもち筋道立てて考え表現する力を、テストや発表の内容、ノートやプリントの記述内容などから評価します。

数量や図形についての技能

数量や図形についての数学的な表現や処理にかかわる技能を、テストやノート・プリント、活動の様子などから評価します。

数量や図形についての知識・理解

数量や図形について意味や性質などについて理解しているかを、テストやノート・プリント、活動の様子などから評価します。